

令和5年 9月 1日 (金)

あさひの日だまり

NO.19

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～祖父母参観日がありました～

ご来校ありがとうございました

1日の金曜日に祖父母参観がありました。昨年度までは1日学校を開放して密を避けるようにしていたのですが、今年は時間を決めての参観としました。今このお便りを書いている時間は、まだ参観日より前ですので、参観日の様子はここへ書けないのですが、ご来校いただいた祖父母の皆さんには本当に感謝申し上げます。ご家庭によってはご両親が参観に来て下さる場合もあると思います。お父さんお母さんにも感謝申し上げます。せっかく祖父母の皆さんに学校へ来ていただく機会ですので、短時間ですが懇談の時間を設けました。その席でこんなお話をさせてもらおうと思って原稿を書いてみました。私の思い出話で大変恐縮です。

祖父母参観に寄せて

本日は暑い中ご来校いただき、お孫さんの頑張っている姿を参観していただきました。本当にありがとうございました。心より感謝いたします。ご来校いただいた機会にと思ひまして、担当の先生に祖父母の皆様と懇談する時間を短時間ではありますが計画してもらいました。こうして時間を作ってこの場に足をお運びいただきましたこと重ねて感謝申し上げます。

私の小学校時代を振り返ってみると、私の両親は共に仕事をしていましたので、私は家に帰ると祖父母に面倒を見てもらっていました。家には毎日必ずおやつが用意されていて、それは祖母の手作りでした。

こたつのある時期はだいたいお餅がおやつでした。アルミの四角い弁当箱にだいたい2つ、揚げもちに砂糖醤油を絡めたものが入っていました。それを掘りこたつの中で温めてくれてあるのです。私はその甘いお餅が大好きでした。またある時は、ポテトサラダがおやつでした。祖母のポテトサラダには砂糖がたっぷり入っているのです。これも私の好物で、茶碗に盛っては食べました。今でも私はポテトサラダが大好きです。家内も結婚する前から始終ポテトサラダを食べていたようで、けっこう好物なのですが、家内のポテトサラダには砂糖が一切入っていません。(家内の家は砂糖をほとんど使わない家庭であることを後々知りました)。私は今でもほんのりと甘くなるまで見つからないようにこっそり砂糖を加えます。それを食べた家内は何も言わないのですが、気が付いているに違いありません。とにかく私は砂糖入りでなくてはダメなのです。私の記憶にはほんのり甘い思い出として祖父母のことが残っています。

祖父の思い出は、たばこの匂いと大相撲とともによみがえってきます。本当にタバコが好きな祖父でした。

その日私は傘を持たずに登校しました。やがて窓の外は雨模様になりました。私とすれば、雨の中をずぶぬれになりながら帰ることはかえって楽しみでもありました。授業中に突然教室の前のドアが開かれて、傘を手にした祖父が現れました。何か一言二言担任の先生に声をかけたまま祖父は傘を担任の先生に手渡しして教室を出ていきました。驚きと恥ずかしさも確かにありましたが、車を運転できない祖父がわざわざ学校まで来てくれたことがとても嬉しかったことを覚えています。

私の家は、両親祖父母と私の5人家族でしたが、同じ家族でも両親に対する思いと祖父母に対する思いはだいぶ違っていました。こんなことを言うと両親には失礼なのですが、祖父母参観に祖父母が来てくれたことは、参観日に母親が来てくれたことよりもずっと嬉しかったことを覚えています。それがなぜなのかはわかりません。

両親は仕事をしていましたし、言葉でなにがしか言われたことはありましたが、私にそそぐ眼差しは忙しさの中にできたわずかな時間だったのかもしれませんが。それに比べて祖父母からはそれほどいろいろ言われたことはないのですが、気が付かない中で孫である私にその眼差しが多くの時間注がれていたのかもしれませんが。そんな温かな祖父母の眼差しを、何か温かな空気にでも包まれたように私は感じていたのかもしれません。

祖父母の皆さんが今日教室の後ろに来てくれたことを、お孫さんは本当にうれしく思っています。どうぞ「頑張ってるのが見られてうれしかったよ」とほめてあげてください。ただそれだけでお孫さんの体に優しい気持ちと「頑張ろう」とする力がみなぎっていきます。

本日はご来校本当にありがとうございました。

～避難訓練がありました～

自分の体は自分で守る

29日の火曜日に避難訓練がありました。私は出張でしたので教頭先生にお願いして行きました。今回の災害は地震を想定しています。今日のラジオで、各ご家庭においては災害に対する十分な備えができていない家庭は20パーセントに満たないと伝えていました。本校についていえば、もし万が一地震が来たとき、児童も教職員も自らの判断で、頭を守り背を低くして揺れをやり過ごせるでしょうか。安全確保をして校庭へ避難できるでしょうか。校庭で人員を確保した後、未確認の人員を手分けしてすぐに捜索することができるでしょうか。そういうことをこういう機会に想定しておかないとだめなのだと思います。子どもたちを静かにグラウンドに座らせて、教職員が一堂に集まり、次の一手を的確に選択することになります。そんなことが絶対起きないようにと強く願いつつ、万が一の場合は、とにかくみんなの命を守ることを第一に動きたいと思います。

教頭先生が今回の訓練の内容と様子をまとめて下さいましたので掲載します。

○ 今回の訓練のねらい「地震が起きた場合の安全な避難の仕方を理解し、速やかに行動できるようにする」

- ① 地震が起きたときは、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」を合い言葉に自分で安全な場所を見つけ、素早く隠れることができるようにする。
- ② 地震前、地震後の職員の活動の確認、訓練をする。
- ③ 地震後、児童・職員が安全に指示された場所に避難する。

○ 想定された災害 令和5年8月29日（火） 14:10 緊急地震速報後、震度5の地震が発生した。

○ 訓練の姿

放送による避難指示から5分後には、校庭本部に避難完了し、学年毎整然と並べました。

「全校在籍247名、欠席15名、出席232名、全員無事避難完了」

○ 避難後に児童へお話しした内容

岩手県の釜石市は東日本大震災で地震による津波でものすごい被害を受けましたが、地域の小中学生は施設のお年寄りや保育園などの小さな子どもたちを助けつつ自分から素早くに避難し、ほぼ全員が無事でした。

これは「釜石の奇跡」と言われましたが、決して奇跡ではなく、釜石市の子どもたちが「津波から命を守る授業」を真剣に行ったおかげです。釜石の子どもたちは、地震の様子から、そのときできる限りのことをしたからこそ、避難することができたのです。つまり日頃の災害の勉強や訓練をしっかりしていたからこそ、自分たちで行動ができて命が助かったのです。いつ起こるか分からない地震ですが、訓練は本当に大切です。

さて、皆さん。今日の自分の姿を振り返りましょう。地震警報が鳴ったときすぐに机の下に潜り身体を守れましたか。逃げるときの「おさない はしらない しゃべらない もとらない」の「おはしも」はどうでしたか。せつかくの訓練です。自分の命は自分で守ることを学年なりに考えてみてください。終わります。

～読み聞かせがありました～

暑い中大切な時間でした

こんな暑さの中ですが子どもたちは元気です。グラウンドや体育館で朝も精一杯遊んでいます。額に汗を浮かべながら教室へ戻り授業の準備をしています。ちゃんと気持ちを切り替えて本を読んだり、自分のことをしたりしている姿を見るとすごいとおもいます。31日の朝は地域ボランティアの皆様による読み聞かせがありました。「今日は読み聞かせだ!」と言いながら昇降口を通る子どもの姿からも、読み聞かせを楽しみにしている様子がうかがえます。暑い中でしたがどの教室でも読み手の方が手にする絵本に視線をそらすことなく集中して、お話に聞き入る子どもたちでした。いつもの朝に増して学校中がしんと静まり返った朝でした。こうやって落ち着いた気持ちで1日を始められる時間をいただけていることに心から感謝の思いがいたします。

